

## 設楽城砦めぐり

じやうさい

いま日本の山城が注目されています。密かなブームであった山城が、多くのメディアに取り上げられ、今まで名もない山間の地でも訪れる人が増えました。

時代も令和と改元され、これを機に町内の城砦を探访する「設楽城砦めぐり」を始めることにしました。

毎月第二土曜日に開催され、初回は田峯城とその周辺の砦から始まり、地元の方の参加も多く、寺脇城では、設楽武将ツ隊による、実戦さながらのパフォーマンスもあって大好評となりました。



寺脇城での設楽武将ツ隊の演出

台風やコロナにより延期もありましたが、令和二年十月に八回目が行われ、毎回定員を上回る盛況でした。

町内には城砦に関連する場所が「北設楽郡誌」に約四十ヶ所記されています。その多く

が小規模なこともあり忘れられ消滅した所もあります。できるだけ今の姿を見て関心を持ってもらいたいものです。

一般に城といえば最終段階の姿を示すものが多く残され、時代背景がわからないものですが、町内の城砦は南北朝時代から戦国時代の中頃に廃城となっており、この時代の城の成り立ちや、構造を知るためには、歴史的価値が高い史跡といえます。



田内城の解説板設置

また地元の方の協力のおかげで、山城サイン計画が始まり、案内標識と説明板を、主な城六ヶ所に設置することになりました。さらにパンフレットや御城印の計画も進められ、新しい観光資源の取り組みが始まりました。

来年はどんな催しになるか楽しみにしてもらえればありがたく思います。

（愛知県文化財保護指導委員

加藤 博俊）